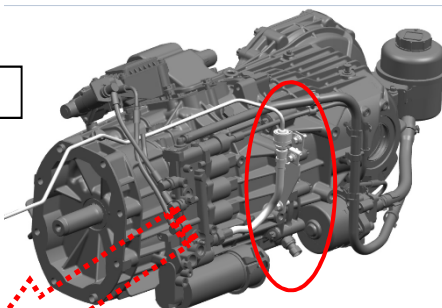


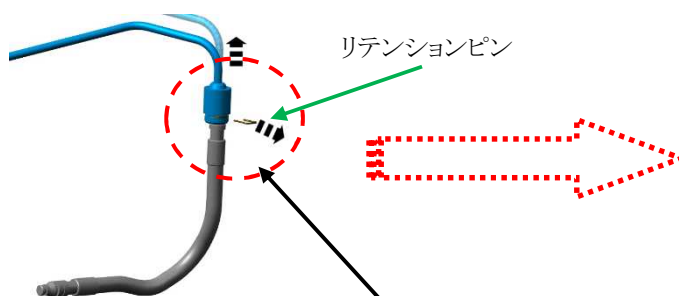
改善箇所説明図①



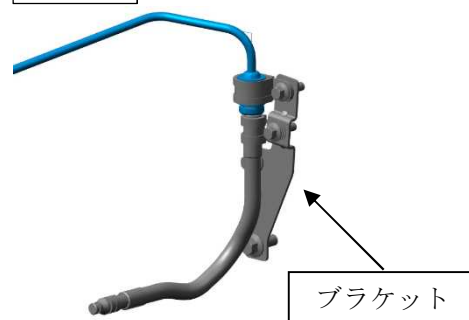
トランスミッション



改善前



改善後



基準不適合箇所

注：口内は追加部品を示す。

半自動式油圧クラッチにおいて、クラッチ油圧パイプ接続部の振動に対する評価が不十分なため、エンジンの振動等により、接続部の固定金具（リテンションピン）が外れ、当該パイプが損傷することがある。そのため、クラッチオイルが漏れ、そのままの状態で使用を続けると、警告灯が点灯して変速不能となり、最悪の場合、停車時にギヤをニュートラルにできず、エンストして再始動できなくなるおそれがある。

改善の内容

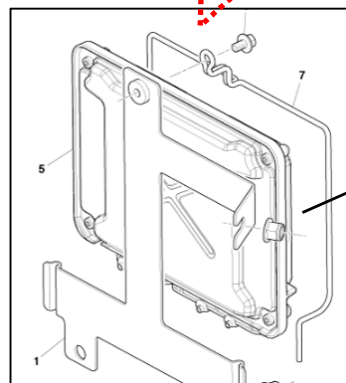
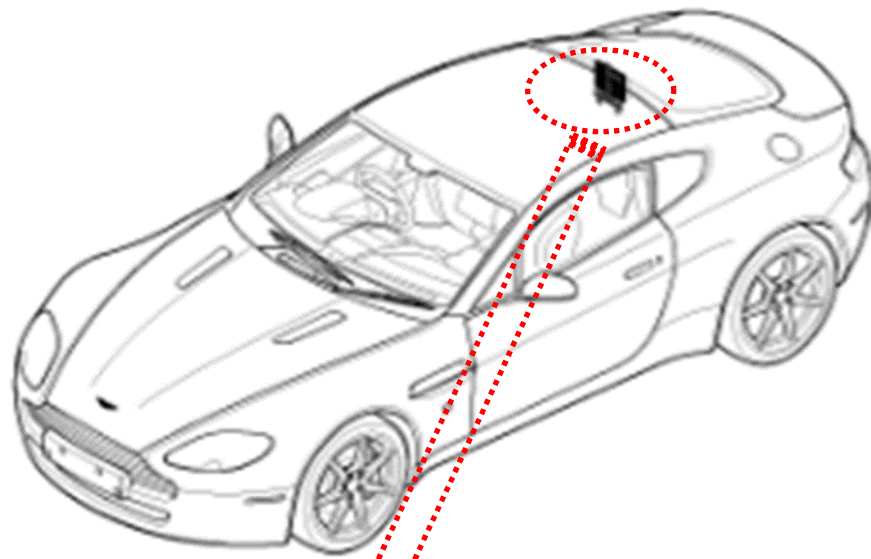
全車両、クラッチ油圧パイプを点検し、

①油圧パイプに損傷がない場合は、パイプ接続部に振動を低減させるブラケットを追加する。

②油圧パイプに損傷がある場合は、当該パイプを新品に交換し、パイプ接続部に振動を低減させるブラケットを追加する。

識別：改善後、エンジンルーム右側上部サスペンションマウント固定用ナットに白色ペイントでマークする。

改善箇所説明図②



トランスミッションコントロールモジュール

基準不適合箇所

注：□内は変更箇所を示す。

トランスミッションに関する整備時において、作業要領書の指示が不適切なため、トランスミッションコントロールモジュールの制御プログラムが正しく設定されていないことがある。そのため、自動変速モードで走行した場合、半クラッチ状態が長くなり、そのままの状態で使用を続けると、クラッチ温度が上昇し、警告灯が点灯するとともに変速不能となるおそれがある。または、走行開始直後、ニュートラルになるおそれがある。

改善の内容

全車両、トランスミッションコントロールモジュールの制御プログラムを変更する。

識別: 作業完了後、エンジンルーム左側上部サスペンションマウント固定用ナットに黄色ペイントでマークする。